

平成31年2月吹田市公民館運営審議会議事要約

日 時 平成31年2月22日(金) 13時30分～14時30分
場 所 吹田市役所教育委員会 大会議室
委員出席者 小寺委員、秋山委員、芝原委員、松岡委員、亀田委員、西尾委員、松本委員
中山委員、伊藤委員
事務局出席者 小西課長、市場主幹、田畑主幹、太田主査、稲垣主査、白澤主任、山口主任、
橋本係員、吉田係員

1 あいさつ

小西課長
議長

2 事業報告

(1) 地区公民館事業について・・・事務局より説明(別紙資料P1からP42参照)

(事務局)資料P1は共催講座を除いた地区公民館単独の主催講座、11月から1月まで3ヵ月間の集計表です。趣味・教養を実施目的とした講座が47.7%と約半数を占めています。

P2は11月から1月に実施された公民館の主催講座のうち、諸団体と共催で行われた講座の集計表です。表の一番下に記載されております、全体に対する割合につきまして、人権は19.2%、健康づくりは30.1%となっております。表の参加者数に注視しますと、お餅つきや、たこあげ等の講座に大勢の子ども達が参加したため、子育て・青少年を実施目的とした講座の参加者数が1,906名にのぼりました。資料P3から実施済内容を種別ごとに一覧にしております。P21からは趣味・教養の講座を一覧にしております。干支の工作やしめ縄作り等、年末から年始にかけてお正月を感じられる講座が多くみられました。特色のある主催講座につきましては、のちほどパワーポイントを使ってご紹介させていただきます。

グループ活動等の利用を含めた公民館の利用状況については、P42のとおりとなっております。実績としては前回集計の8月から10月と比較して概ね横ばいとなっております。

江坂大池地区公民館につきましては、大規模な改修工事のため、11月から3月末まで貸館利用やグループ活動は休止しております。改修工事期間中は、主に館外講座を実施しているのみとなりますので、今回の表では件数・人数ともに表のような少ない数となっております。

同様に、山手地区公民館の利用件数につきましても、1月の新築移転に伴い、引越、開館準備のため一時貸館利用やグループ活動を休止していたため、前回より少し減少しています。

次に、千三地区公民館で実施された主催講座について、パワーポイントを使ってご報告させていただきます。

(事務局)千三地区公民館で平成31年1月16日、23日の2日間行われた「バスケットボール教室」をご紹介します。この講座は地域の子育て世代や学生から、要望され開催に至りました。

講師は千三地区体育振興会にも属しており、地域のスポーツ活動にもご尽力いただいている中島典子さんです。今回は第一中学校体育館の夜間開放を利用しての開催です。対象は中学生以上で、バスケットボールの経験は問いません。開始時間になり、千三地区公民館の企画運営委員の方が挨拶をし、中島さんを紹介して教室が始まりました。参加者は経験者だけでなく、初心者もおられ、中島さんもバスケットボー

ルは初心者です。講師といっても技術を教える訳ではなく、安全に教室を進行する役割を担っています。実際の技術は経験者の参加者が初心者に指導をしたり、準備運動からゲームまでの流れを話し合っ決めて行っていました。お互い初対面の人も多く、初めは声もあまり聞こえてこなかったのですが、練習が進み3対3からゲーム形式になるころには大きな笑い声も聞こえてきました。参加者は地域の子育て世代のご夫婦や社会人の方、千三地区の小、中学校でバスケットボールをしていて現在も続けている学生などです。

今回の教室がきっかけになり、経験者も未経験者も交流をもち、地域でバスケットボールのサークル活動に繋がったり、将来的にはチームで試合にも出てもらえればというのが目的です。実際に千三地区でフットサルのサークル活動を行っていますが、参加している同様の世代のメンバーが文化祭の出店手伝いや講座の手伝い、その他、館の事業だけでなく、市民体育祭など地域の事業に参加、協力していただいているそうです。スポーツを通じて、公民館を利用されていない若い方々を対象に、公民館での講座にも積極的に参加していただき、様々な体験をしてもらうことで、地域のつながりも作っていききたいという企画運営委員の方のお話でした。

前回の運営審議会委員の方々から、公民館利用者の高齢化についてご意見もいただきましたが、千三地区では公民館講座を通じてスポーツによる仲間作りと、より住民が地域とつながっていくような働きかけをされています。他には、青少年対策委員会と共催で第一中学校陸上部の生徒が体育祭前に小学生に走り方を教える講座も実施し、異年齢の交流も図っています。「高齢化」という、地域や公民館が抱える問題に様々な工夫をされている館の一つとしてご紹介させていただきました。

(A委員) 年上の子が年下の子を教える縦の繋がりがいいですね。近年そういった関係が希薄ですので、もっと発展していけば良いと思います。

(議長) この教室は1回きりですか。また、定期的に行う予定ですか。

(事務局) 体育館の夜間開放で実施しているので、会場確保の問題もありますが、定期的にも実施したいと企画運営委員は考えています。

(A委員) 子ども会活動はありますが、小学生時代で終わり、中高生になると年下の子の面倒を見る機会が無くなり繋がりが途切れてしまうので、こんな取り組みはすごくいいなと思います。

(副議長) 中学校でバスケット部が無かったり、中学校へ入ってバスケットを辞めてしまったりした子供達がまた、バスケットに携わることでできることは良いことだと思います。

(2) 平成30年度地区公民館文化祭事業結果報告・・・事務局より説明(別紙資料P43参照)

(事務局) 平成30年度地区公民館文化祭の事業結果報告をさせていただきます。資料P43にございますが、平成30年度の地区公民館文化祭につきましては、好天に恵まれ、昨年度に比べ来館人数も全体的に増えております。

吹田南地区公民館は建て替え移転後、初めての文化祭となりました。旧館の時は、2階で喫茶コーナーを行っていても、エレベーターがないためになかなか上まで来ていただけなかったようですが、新館にはエレベーターが設置され、2階の喫茶コーナーにも足を運んでいただけるようになったと館長が喜んでお話しされていたのが印象的でした。吹田南地区公民館の来館人数の上昇にもつながっていると思われます。

西山田地区公民館の来館人数が昨年度に比べて減っておりますが、昨年度までは西山田地区集会所で春の文化祭を行っておりました。今年度は、その西山田地区集会所が改修工事で使用できないため、秋の文化祭のみとなった関係で、来館人数が減少しておりますが、秋の文化祭のみで比較すると、昨年度は980人、今年度は960人と、それほど大きな差はございません。

前回の運営審議会で文化祭の様子をご報告させていただきましたが、各館、工夫を凝らした内容で文化祭を開催されております。来年度は、山手地区公民館が新築になって初めての文化祭を迎えます。今後も地域の特色を活かし、親睦を深めていってほしいと思います。

(A委員) 各館出品展数が減ってきているようですが、これは趣味の講座が増えないと出品展数が増えないでしょう。専門的な講座、教養講座との兼ね合いを事務局はどう考えていますか。

(事務局) 出品展数が伸びない理由としてサークル活動の参加者や指導者の高齢化という問題もあると思います。専門的な講座や教養講座は多くの方、若い方も含め来ていただけますので、趣味の講座との両輪で生涯学習、社会教育活動を活発にさせていただくということが我々の考えです。

当面の問題は公民館に携わる方の高齢化問題ですが、今すぐの解決は難しいですが、先ほどの事業のように若い方の参加を呼び込んで、将来は企画運営委員になっていただくよう育てていくなどの取り組みが必要と考えております。

(副議長) 吹六地区公民館で、4人ほど高齢で講師が辞められて、同好会として講師なしで進めてもらっているグループもありますが、今後そういう問題が出ると思います。高齢化問題に関しては今から小さい子供達に公民館に馴染んでもらうために小学生の高学年は保護者なしでの利用は難しいのですか。

(事務局) 小学生に関しては保護者同伴が望ましいという考えです。

(副議長) 何かの機会が無ければ入れないということですね。

(事務局) 土日のイベントに保護者同伴で来館というかたちです。

(副議長) 公園のベンチで子供達が勉強しているのを見て、公民館が空いているし公民館で勉強すれば公民館の有効利用になると思います。

(事務局) 空いているときは自習室として使っていただくことは以前から検討しております。これからは各公民館長と可能か相談させていただきます。

3 その他

(1) 地区公民館長会について

(事務局) 平成31年1月21日(月)に公民館長会議を開催いたしました。内容については、一つ目が「平成31年度地区公民館企画運営委員の公募委員の募集について」です。企画運営委員を平成31年6月に全員委嘱する地区公民館13館について、そのうち各館2名以内の公募委員を募集するものです。

館長会ののち、各地区の公民館だよりと市報すいたに掲載させていただきました。2月1日から14日までの募集期間で、応募があり、今週末面接を予定しています。

二つ目が、「会計年度任用職員の導入について」です。地方公務員法の一部改正に伴い、平成32年4月から会計年度任用職員制度が導入されることとなり、地区公民館長につきましても、現在の「特別職非常勤職員」から「会計年度任用職員」に制度が移行されるものです。これにより、勤務体系や報酬の基準が変わることになります。詳細はこれから決定されていきますが、概要について説明させていただいたものです。また、地区公民館長ブロック別意見交流会で出された意見について、各ブロックの幹事となる館長からそれぞれ発表がありました。

(2) 平成30年度地区公民館長研修についての報告

(事務局) 平成31年1月30日(水)午前10時から、さんくす3番館4階の教育委員会大会議室において、地区公民館長を対象とした「防災研修」を実施しました。内容につきましては、東佐井寺地区公民館長に平成30年6月の大阪北部地震における自主防災組織との連携について事例発表をしていただいた

後、危機管理室職員を講師として、避難所運営ゲーム（HUG）を実施しました。

避難所運営ゲームでは、5グループに分かれ、小学校の体育館が避難所という共通の設定で、避難者の年齢、性別、それぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、対応していくかを疑似体験しました。ゲームの設定が小学校だったため、「公民館とは条件が違いすぎる」というご意見もいただきましたが、アンケートの結果はおおむね好評で「いろいろな避難者を想定して対応していく点が参考になった」「災害に対しての心構えを改めて考えさせられた」といった感想をいただきました。

今後の研修に関する意見として、生涯学習に関するもののほか、防災についてもより具体的な研修をしてほしいというご意見をいただきましたので、今後の研修計画を立てる上で参考にしていきたいと思えます。

（3）山手地区公民館竣工式についての報告

（事務局）山手地区公民館につきましては、平成30年2月に着工、同年12月28日に完成いたしました。平成31年1月19日土曜日に公民館竣工式を行い、市関係者、公民館関係者、地域の諸団体を含めまして、100人を超える方々にご出席いただき、多くの方々に祝っていただきました。建設準備会の方々は、部屋の配置や使い勝手面で、何度も話し合いを重ね、可動舞台のある会議室、収納を重視した調理実習室、明るさを考慮した玄関ホール、また平屋構造としてバリアフリー面でも利用しやすい公民館となっています。

これからも、地域の方々に愛され、活用される施設となるよう事務局もサポートしていきたいと考えています。

（議長）竣工式に出られた方もおられると思いますが、何かご意見ありますか。

（A委員）平屋作りで敷地面積はゆつたりと確保できたのですか。

（事務局）敷地は一定の広さで購入できましたので、最初から平屋の計画で進めてまいりました。

（副議長）大会議室は何人ぐらい入れるのですか。

（事務局）椅子、机を用意しますと96人、椅子だけですと120人は入れます。

（A委員）畳の部屋は避難所となる公民館では不可欠だと思いますので、山手地区公民館が羨ましいです。

（議長）避難所としても小学校の体育館とこんな綺麗な畳の部屋とでは気分が全然ちがいますね。

（副議長）平屋の公民館は良いが3階建ての公民館にはエレベーターは付かないんですか

（事務局）エレベーター棟を確保する敷地がなく今のところ難しいです。それでも作るなら、会議室を狭くするしかないと思われます。

（A委員）ホームエレベーターの様なものも無理ですか。

（事務局）1番大きな問題は鉄筋造りで構造上建物をくり貫くことは難しいことです。

（副議長）良い案はないのですか。

（事務局）バリアフリーの観点から見ましても今後の課題と認識しております。また、老朽化している公民館から利用者が快適に利用できるよう建て替え時に考慮してまいります。

（A委員）吹一地区公民館は非常に狭いですが、建て替えまたは移転はいつごろになるのですか。

（事務局）具体的には申し上げられませんが、検討はしております。まずは用地の確保と考えております。

(4) その他

(事務局) 2019年度は資料にも掲載しておりますように6月、8月、11月、2020年2月を予定しております。開催についてはその都度連絡をさせていただきます。

(議長) それでは1年を終了しまして、各委員の方は一言ずつ感想等をお願いします。

(副議長) 1年間無事に終わりそうなのでありがとうございます。

(B委員) 公民館事業に携わっておられる方は一生懸命取り組んでおられることはわかっておりますので特に私の方から申し上げることはありません。

(A委員) 小学校区に1館の公民館の知名度もっと上げなければならないと思います。後1年任期がありますので、よろしくお願いします。

(C委員) 他の公民館の事業が良く分かり良かったと思います。山手地区公民館は最初、平屋ということで違和感を感じたのですが、十分機能することが分かり今後は楽しみです。

(D委員) 私は豊一地区ですが、他の地区の状況が良く分かりよかったです。

(E委員) 私は公民館活動30年ですが、やはり問題は公民館利用者の高齢化です。また利用者の減少もあります。今後の公民館の課題だと思います。

(F委員) 私は現役の館長としての参加でしたが、館長の任期も4月で終わりますので新館長に自分の経験やここで出た意見等を参考にアドバイスして公民館を盛り上げるよう力添えをしたいと思います。

(G委員) 吹田市は公民館活動が充実していると思います。私の考えですが吹田市は文化団体も充実していて、そういったところとの繋がりを持ってより充実してくるのではないかと考えます。

(議長) 私は議長になってから色々な館をまわりましたが、29館それぞれ素晴らしいことを実施していることがわかりました。今後もこの会議で色々な課題を話し合って各公民館事業を発展させていければ良いと思います。

(事務局) 委員の皆様の貴重なご意見ありがとうございます。頂いたご意見のなかで公民館のサークル活動の講師の方の高齢化問題は大きな課題と自覚しております。今後文化団体様には何かとお世話になると思いますが、その節はよろしくお願いします。また、公民館を市民に知ってもらうという問題、これはある意味永遠の課題でもあると思います。公民館は残念ながらIT化に乗り遅れインターネットへの情報発信がなく、今の時代では情報が取りにくく、そういったところを改善すべきと考えております。また、地域活動が活性化すれば、自治会を通じて知ってもらえるのではと考えております。このような点を課題として取り組んでまいりたいと思います。

公民館だけでなく建物の老朽化の問題は、時間はかかりますが全市の施設の問題でもあります。しかし、公民館の必要性をアピールして少しずつでも改善していきたいと思います。その節は皆様のお力をお貸し頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

次回会議の日程・・・平成31年6月21日(金) 午後1時30分から開催
吹田市教育委員会 大会議室(さんくす3番館4階)

閉会あいさつ 副議長

— 終了 —